

### カーボンニュートラルについて

ぼくの家ではカーボンニュートラルを考え、石油由来プラスチックや紙なども、大気中に無かった炭素を出してしまわないように、ポリ乳酸（PLA）で作られた水切りぞみ紙を使う予定です。

●ポリ乳酸とは  
再生可能な原料で作られた、生物の力で分解できる生分解性バイオマスプラスチック。

●生分解性バイオマスプラスチック  
トモロコシなどの再生可能な原料から生産されたバイオプラスチックです。

●どれだけのプラスチックが生産され、はいまさらされているのか  
1950年～2021年までに使われたプラスチックの総量は億トン、そのうち63億トンがはいまさらされています。

●海洋流出は  
毎年80万トンのプラスチックが海洋に流出しています。かんきょおせんがしんく化。

●ポリ乳酸商標をなくして使うの  
ポリ乳酸は石油や石炭など化石原料を使わないため、しげんのかかつかつにならない。ポリ乳酸製品はせい造時に化石燃料より二酸化炭素発生量が少しい。

●カーボンニュートラル  
ポリ乳酸の原料として利用される植物は光合成に利用する炭素は、もともと大気中に二酸化炭素としてあったものです。ですからポリ乳酸を焼却して出る二酸化炭素は化石原料とちがい、もともとあった場所に戻ったことになり、差し引きゼロになるのでカーボンニュートラルといえます。

●ぼくの考え  
海洋プラスチックを飲みこんでしまうと悲しく思います。脱プラを進めることで、少しでも良いかんきょを守れるのではないかと思います。

